

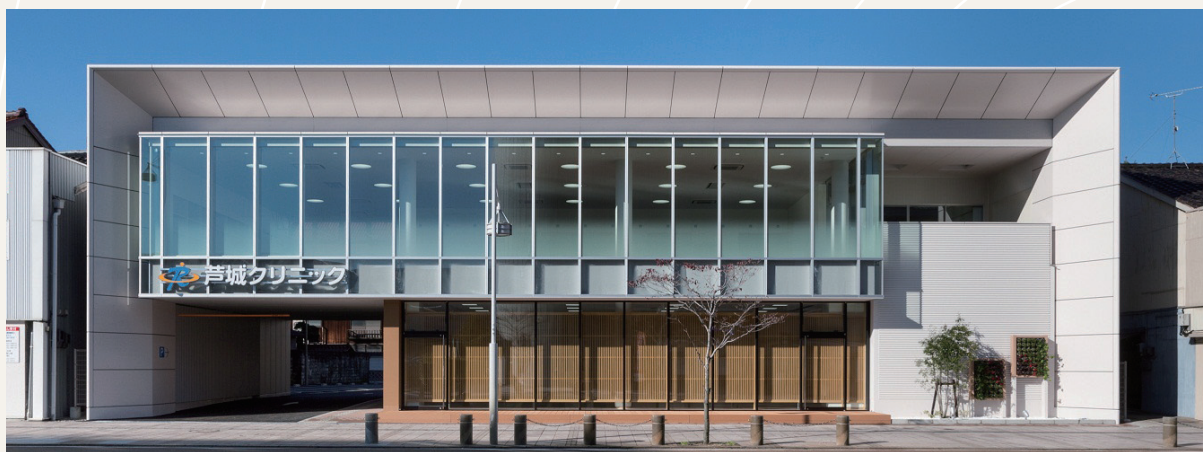
まちなみ部門



◎ 農家生水 ジャパンファーム 那谷町 【建築物・工作物】

施主 (有)ジャパンファーム 農業関連施設として蔵を想起させるデザインを施し、巨大で無愛想なボックス型倉庫建物とならないように配慮。瓦屋根農家が点在する山里の田園景観に調和した建築となっている。

設計 西建築設計事務所
施工 ㈱谷口工務店



◎ 芦城クリニック 土居原町 【建築物・工作物】

施主 特定医療法人社団 勝木会 駅前の大通りに面し、アルミ材等の現代的素材を適切に活用しつつ、縁側のしつらえや庭木も配し、端正で開放感のある表情と造りを創出。沿道景観の整えと街区の賑い演出に寄与している。

設計 清水建設㈱ 北陸支店 一級建築士事務所
施工 清水建設㈱ 北陸支店



◎ ひかりっこ保育園 川辺町 【建築物・工作物】

施主 社会福祉法人 こばと福祉会 園児の活動の賑いが地域に供出する開放的で親しみ感のある造りとするとともに、植栽を施し、建物を小割に細分化し、近接する住居群の家並景観と同調するよう図っている。

設計 ㈱中島建築事務所
施工 ㈱トーケン

広告部門



◎ 村井索道 社名看板 串町(串工業団地)

施主 村井索道㈱ 芝生のランドスケープと一体化した環境彫刻風のモニュメント社名看板とすることで、工場団地地区に和らぎ感と清涼感を付加するものとなっている。

設計 一級建築設計事務所 太田設計
施工 ㈱トーケン

夜間景観部門



◎ antiqua embel 園町

施主 ㈱アンティカ 中心市街地周辺の新しい街区にあって、建物各所の機能と特性に応じた明りを効果的かつコントラストよく配置し、街区の夜間景観の魅力アップと夜間の賑い増幅に寄与している。

設計 タカラスペースデザイン㈱
施工 (一級建築士事務所)

ごあいさつ

小松市には、霊峰白山や木場潟、日本海などの雄大な自然が広がり、寺社や町家などの歴史的・伝統的な建築物も多く佇んでいます。良好な景観は、自然、歴史、文化などの様々な要因が調和して形成されるものです。市民、事業者、行政が一体となり、本市のかけがえのない財産として守り、創り、育てていく必要があります。

「こまつまちなみ景観賞」は、本市の魅力あるまちなみの創出に貢献している建築物などを選び、その関係者を顕彰するものです。平成11年から始まり、今年で16回を迎え、これまでに合計74点もの作品が入賞されました。今回受賞されました方々には心からお祝い申し上げます。

いよいよ、北陸新幹線金沢開業、全国植樹祭など、国内外からたくさんの方々が小松市に訪れます。これまで以上に小松らしいやさしいまちづくりに取り組むとともに、白山眺望、町家、里山等の多彩な景観を一層アピールしていく必要があります。

今後も、市民力を最大限に活かし、さらなるまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

市民の皆様にも、小松らしい景観づくりに、積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

最後に、審査にあたりご尽力いただきました審査委員の方々、そして趣旨に賛同いただきご応募・ご推薦いただいた多くの方々に深く感謝申し上げます。

講評

こまつまちなみ景観賞も16年が経過し、着実にその成果を重ねてきました。今年度から正式に「夜間景観部門」と「広告部門」も加え、さらに充実度を増すことになりました。品位ある夜間景観の充実は、都市の魅力を高め、滞留時間と賑わいの増幅に寄与することは確実です。また心配りされた植栽やサイン看板、ベンチ等のストリートファニチュア類の適切なデザインと配置も、景観の向上とともに、まちなかに抑揚感と楽しさを付加する上で効果的です。

今回、「まちなみ部門」で41件、「広告部門」で3件、「夜間景観部門」で3件の応募があり、「まちなみ部門」については一次審査で9件に絞り込みました。引き続き現地審査を行い、市内7カ所で行われた市民投票結果(総数それぞれ1698票・766票・765票)を加味しつつ、最終的に「まちなみ部門」3件・「広告部門」1件・「夜間景観部門」1件を入賞として選出しました。

今年度の特徴としては、最終的に選出が無かったのですが、大変多くの一般住宅の応募があり、いずれも景観に対する配慮と工夫が感じ取れるものでした。また店舗や学校施設にも良いものがありました。

北陸新幹線の開業も間近となり、来訪者の増加も予測されます。魅力と品格のある都市／小松としてまちなみ景観に一層の磨きをかけ、大いに小松のアイデンティティをアピールしていく事を期待したいと思います。

こまつまちなみ景観賞
実行委員会会長

小松市長 和田 慎司



こまつまちなみ景観賞
選考委員長

森 俊偉

